

施設規模

150t/日(75t×2炉)

建設場所

上山市川口地内



事業実施について

❁ 事業方式

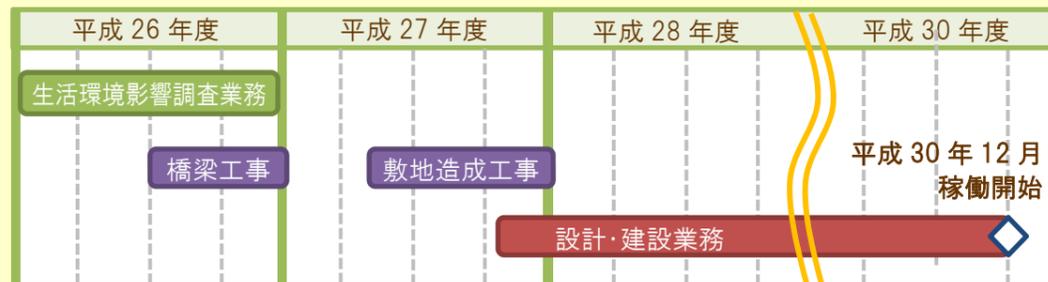
・公設民営方式(DBO方式)を採用します。

施設建設から運営・維持管理までを一体的に民間事業者任せすることで、民間事業者のノウハウを活かした質の高いサービスや、地元雇用が期待できます。事業費が圧縮でき、組合の財政負担額が減り、住民の皆さんの負担が軽減されます。

新施設には組合職員を配置し、民間事業者が適正かつ確実に公共サービスを実施するように監視を行います。



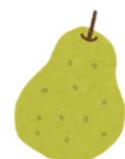
❁ スケジュール(予定)



新施設の建設については、建設地周辺の皆さんを対象にした説明会や本組合圏域の住民の皆さんを対象にした広報の発行などを実施し、事業を進めてまいります。

お問い合わせ先

山形広域環境事務組合 管理課
〒990-8540 山形県山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL: 023-641-1844 FAX: 023-641-1845
e-mail: yamakokn@beach.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://www.yamagata-koiki.or.jp/>



エネルギー回収施設(川口) を建設します



イメージ図

山形広域環境事務組合

皆さんの努力で少しずつ「もやせるごみ」は減っています。しかし、ごみを完全になくすことは出来ず、皆さんの生活環境を守るために「エネルギー回収施設」が必要不可欠です。

① 発電を行います

ごみの焼却熱を利用して発電を行います。

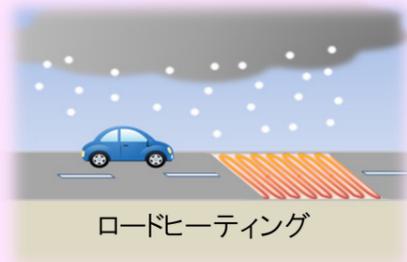
発電電力は施設や電気自動車の充電設備で使用し、余った電力は売却します。

施設の発電電力は、一般家庭年間消費電力の約 5,000 世帯分に相当します。
 ※年間発電電力量: 約 1,700 万kWh/年
 家庭1世帯あたりの年間消費電力量 3,360kWh/年
 家庭1世帯あたりの月間消費電力量 280kWh/月として算出



② 余熱利用を行います

建設地内及び市道へのロードヒーティングを計画しています。



③ 付帯施設の整備

地域に開かれた施設として、緑地を活用した多目的広場の整備を検討します。

親近感のある施設

施設整備のコンセプト

安心できる施設

信頼できる施設

① 環境への影響が少ないものとします

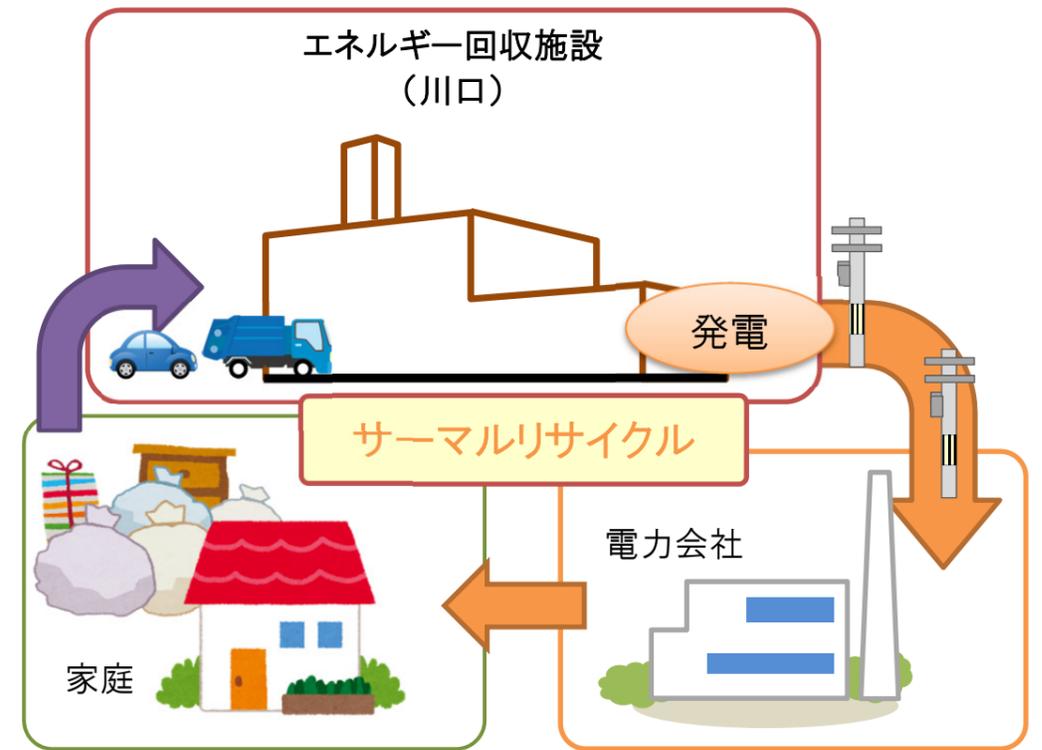
新施設から発生する排ガスや排水等は施設で処理し、環境への影響が少ないものとします。

新施設の建設は、生活環境影響調査により環境への影響が少ないことを確認した上で実施します。

② 関係法令を遵守します

新施設から発生する排ガスや排水等には、関係法令や関係基準等を遵守します。特に排ガスについては、関係法令よりも厳しい計画値(排出基準)を設けます。

排ガス等の遵守状況が確認出来るように、監視盤を設けます。



① 処理方式は流動床式ガス化溶融炉です

環境保全や施設の安全性、資源化に優れた処理方式である「流動床式ガス化溶融炉」を採用します。

② プラスチック類をもやします

現在、プラスチック類は「もやせるごみ」とは別に収集し、民間委託により処理していますが、新施設ではプラスチック類をもやしてエネルギーとして回収します。

③ 資源化を行います

流動床式ガス化溶融炉でごみを処理すると多くはスラグになります。スラグは灰を高温で溶融固化したもので、無害なものです。砂に形状が似ており、道路舗装やコンクリートの材料として利用されます。

